

25年 3月 31日

派遣成果報告書

有田市議会議長 様

議員氏名

岡田行弘 

有田市議会の議員派遣に関する要綱第5条の規定により、下記のとおり報告します。

記

研修名	①「市長経験者が明かす!代表質問・一般質問の極意」 ②「市長経験者が明かす!予算審査のツボ」
研修期間	25年 2月 7日(火) ~ 年 月 日
研修場所	1 全国市町村国際文化研修所 (大津) 2 市町村職員中央研修所 (千葉) 3 地方議員研究会 () 4 その他 (株式会社 地方議会総合研究所 京都)
研修の成果	別紙のとおり

※ 「研修の成果」は研修内容や所感などを具体的に別葉に作成して添付してください。

※ 研修先から交付される「終了証」等を添付してください。

議員派遣研修レポート

令和5年3月31日提出

氏名 岡田行弘

日時・場所 令和5年2月7日(火)10:00~17:00
ヤサカ四条烏丸ビル2階会議室

研修内容

令和5年2月7日(火)10時~13時

講師:合資会社まちづくりコーディネーター代表 平井 竜一(前 逗子市長)
セミナー名 「市長経験者が明かす!代表質問。一般質問の極意」

令和5年2月7日(火)14時~17時

講師:合資会社まちづくりコーディネーター代表 平井 竜一(前 逗子市長)
セミナー名 「市長経験者が明かす!予算審査のツボ」

添付資料

別紙のとおり

『市長経験者が明かす！代表質問・一般質問の極意』

研修内容

- 1、一般質問の極意
- 2、受講者の一般質問を採点
- 3、代表質問で何をとうべきか？
- 4、格調高い質問で差をつけろ！
- 5、受講者（会派）の代表質問を市長目線で採点
- 6、理想の代表質問を組み立てよう

研修での感想

*市長経験者だからこそ受講者に話せる本音があり、良い勉強になりました。

一般質問で類型を幾つか示されたが、そのうち「出来レース型」「要望アリバイ型」は、答弁する側にとっては非常に楽な質問とのこと。

また、「批判追及型」については対案もなくひたすら批判してくるだけなので、相手にしないとのこと。そして「自己満足型」にいたつては大抵の場合、何を言っているのかわからず、ただただ持論を語り続け、ろくに答弁も求めてこないのも、これもまた答弁する側にとっては非常に楽な質問であるとのこと。

こうした類の質問が繰り返されると、議場に拘束されている他の議員や執行部にとっては、とにかく時間のムダであり、何より市民のためにならない。

一般質問をする議員として、気を付けていきたい。

*問題点を分析し、対案を示しながら行政の見解を質し、実現に導く「政策論争型」で臨まなければならない。

*講師の「議員の鋭い質問こそが、首長と職員に緊張感をもたらし、政策をより良いものに発展させる！」との言葉が心に残りました。

私たち議員は、市民の代表であるという自覚をより強く持ち、行政に対峙しなければならないと感じました。

『市長経験者が明かす！予算審議のツボ』

研修内容

- 1、議会在が予算を決める
- 2、財政難時代の予算作り
- 3、代表質問で何を問うべきか？
- 4、格調高い質問で差をつけろ！
- 5、受講者の代表質問を市長の目線で採点
- 6、受講者の自治体予算を斬る！
- 7、行政が変わる！議会が変わる！
～予算修正案を提案する～

研修での感想

*提案権・執行権に対する議決権の**大きさ**、議決することの**重み**を十分に感じて議会に臨んでいるのか考えさせられました。

*当初予算を否決したら行政が動けなくなり、市民が困る。
だから賛成するのが当たり前だと考えていました。

講師が言われた「予算案に 100 点はない」という見方で予算審査に臨み、本当に効果があるのか？ この額は適正なのか？ という視点を更に鋭くしていかなければならないと強く感じました。

*また、予算に限らず、様々な議案についてもチェック機能を果たし、議決権の大きさを感じながら市民の代表として職務を果たしたいと感じました。